

# 特集 風水害に備える

近年、全国各地でゲリラ豪雨や台風による豪雨災害や土砂災害が発生する危険性が高まっています。これから台風シーズンを迎えるため、災害から身を守る対策ポイントを確認しておきましょう。

▶問合せ 総務課防災安全係 ☎25-3451

▲集中豪雨の影響で起こったがけ崩れ(令和元年・永井地域)

## Point

### ① 防災マップを確認

「防災マップ」には、大雨により利根川と片品川が増水し堤防が決壊した場合の浸水場所などを想定したものと、大雨による土砂災害の危険がある場所を示しています。村内に潜む危険を一目で確認できます。



▲昭和中村防災マップ



◀昭和中村防災の手引き

「防災の手引き」は、詳細な防災マップに加え災害への備えや避難の方法などについて詳しく解説されています。

「防災マップ」や「防災の手引き」はホームページに掲載中▶



あらかじめ警戒が  
必要な場所を事前に確認

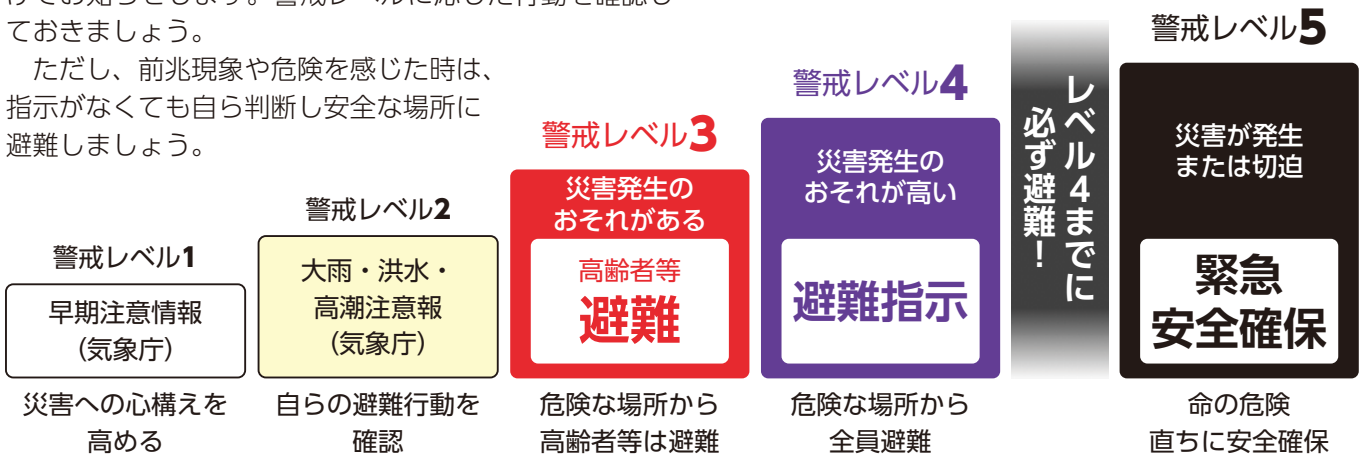
## Point

# ② 警戒レベルに応じた行動の確認

## 命を守る行動

気象庁が発表する防災情報を5段階の警戒レベルに分けてお知らせします。警戒レベルに応じた行動を確認しておきましょう。

ただし、前兆現象や危険を感じた時は、指示がなくても自ら判断し安全な場所に避難しましょう。



## Point

# ③ 避難場所の確認



まずは、学校や公民館といった近くの指定緊急避難場所を確認しておきましょう。また、災害の状況に応じた避難場所を複数個考えておくことで、災害時に迷いなく行動に移すことができます。「自らの命を守る」ため、災害が起きた時どう行動するか決めておきましょう。

## 災害が起きた時どう行動するのか

## Point

# ④ 自助・共助・公助の連携

災害対策の基本は、ひとりひとりが防災意識を高め、「自助」の力を高めることです。また、自分一人では対応できなくなったとき、頼りになるのが「共助」です。そして、「公助」の手を円滑に被災者に届けるためには「共助」との連携が欠かせません。

**自助**…自分や家族の身を守ること

**共助**…地域の人で助け合うこと

**公助**…国や自治体による支援

## 地域の一体化で災害を食い止める

高齢者・傷病者には…

援助が必要なときは、複数人で安全な場所まで誘導します。



車いすの方には…

階段などでは、2,3人で協力し恐怖心を与えないようにします。



妊婦・乳幼児には…

妊婦や乳幼児を抱えている方が困っていないか、声をかけましょう。



①②③で自分を守る

少しでも被害に遭わないよう日頃から備え、行動しましょう。

